

外観



伏見稲荷大社には重厚な社殿、有名な千本鳥居や摂末社が建ち並び、五穀豊穡、商売繁盛の神として庶民信仰を集める。参拝者が利用しやすいよう、境内および駐車場のトイレ4ヶ所の改修が行われた。

トイレ外観



改修されたトイレの中でも、警衛所南側のトイレは、表参道の楼門の手前に位置することから多くの参拝者が利用する。今回の改修では、躯体は既存のままとし、内装・器具の更新を行った。

男性トイレ 全体



小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラフロアを設置。安全性に配慮し、水濡れ時にもすべりにくいグリップタイプを採用している。

男性トイレ 小便器コーナー



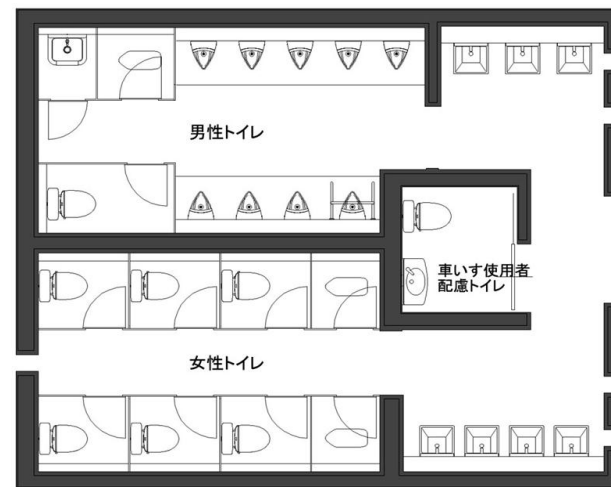
床の清掃性に優れた壁掛式の自動洗浄小便器を採用。ライニングが石造りのため、正面からメンテナンスが可能な掃除口付きタイプを設置している。1ヶ所には、小便器用手すりを設置。

改修前



改修前のトイレはすべて和式(車いす使用者配慮トイレ以外)。小便器下の御影石は尿が染み込むなど、汚れやにおいの問題があり、使いにくいという声が上がっていた。

トイレ図面



男性トイレ 大便器ブース



各大便器ブースには、訪日外国人にもわかりやすいように、トイレの使い方を4ヶ国語で解説したラベル(京都市作成)を掲示している。

車いす使用者配慮トイレ



背もたれや手すりを完備した車いす使用者配慮トイレ。便座には、ボタンを押すたびに発電する電源不要のエコリモコンを採用した、ウォッシュレットPSを設置している。

女性トイレ 洗面コーナー



窓から自然光が差し込む明るい洗面コーナー。鏡下には手荷物がおけるカウンター部を設けた。水栓金具は水じまいがよく、ノンタッチで水の出し止めができる壁付きの自動水栓を採用している。

女性トイレ 大便器ブース



混雑を解消するため、洋式便器は連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。掃除口付きなので、異物が詰まっても簡単に取り除くことができる。

建築概要

名称	伏見稲荷大社 境内トイレ
所在地	京都市伏見区深草藪之内町68番地
施主	伏見稲荷大社
設計	株式会社馬庭建築設計事務所
施工	株式会社大林組
竣工年月	(改修)2016年7月

水まわりの特長

<改修の経緯>
伏見稲荷大社は、全国に約3万社あるといわれ各地で老若男女を問わず親しまれている「お稲荷さん」の総本宮。1300年にわたって、人々の信仰を集め続け、近年でも初詣の人出は、近畿地方随一を誇る。また、大手ロコミサイトで外国人の人気第1位に選ばれるなど、訪日外国人からの注目も高く、京都でも有数の人気スポットとなっている。これまで参拝者用のトイレは和式大便器が中心であったが、外国人や高齢者、子どもが使いにくいことから、境内および駐車場のトイレ4ヶ所の改修が行われた。

<トイレの特長>
改修により、大便器は和式中心から洋式中心へと変更。参拝者による利用が多く混雑するため、連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。異物の詰まり対策やメンテナンス配慮として、大便器・小便器ともに掃除口付きとしている。また、外国人にも使用方法がわかりやすいよう、トイレの使い方を4ヶ国語で解説したラベルを大便器ブース内に掲示。既存の躯体の外観や雰囲気を保ちながら、設備と内装の更新により、明るく清潔感のある、使いやすいトイレに生まれ変わった。